

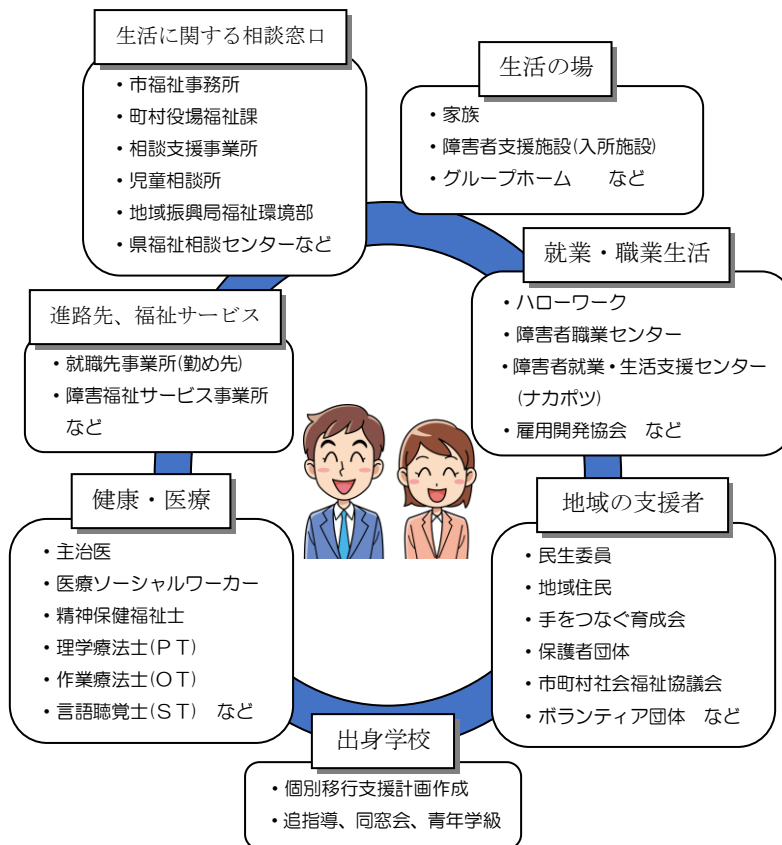


移行支援ネットワーク会議で卒業後の進路希望を公表

7月4日（火）に高等部3年生の生徒と保護者を対象に、「第1回移行支援ネットワーク会議」が行われました。高等部3年生は、卒業すると学生生活から社会生活に「移行」します。この会議は、その移行期に自分たちを応援して下さる福祉や労働等の関係者の皆さんに、自分たちの進路希望を知っていただくことを目的としています。

卒業後に地域で社会参加するためには、来校して下さった福祉や労働の関係者の方々のような「地域の応援団」の協力が必要となります。今回の会議は、「地域の応援団」のネットワーク作りのための貴重な機会となりました。

移行期から卒業後の生活を支えるネットワーク



会議に参加していただいた関係機関は、次のとおりです。

- 行政** : 湯沢市役所福祉保健部福祉課
- 労働** : 湯沢公共職業安定所、湯沢雄勝障害者就業・生活支援センターばあとなあ
- 総合的な相談窓口** : 湯沢市基幹相談支援センター
- 各相談支援事業所** : やまばと園、松風、ワークセンターゆざわ、愛光園、湯雄福祉会、皆瀬更生園

第22回秋田県障害者技能競技大会

7月5日（水）に、秋田市にぎわい交流館AUにて、第22回秋田県技能競技大会（アビリンピックあきた大会2023）が行われました。

この大会は、障害のある方々が日ごろ培った技能を互いに競い合うことにより、その職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の人々が障害のある方々に対する理解と認識を深め、その雇用の促進を図ることを目的としています。

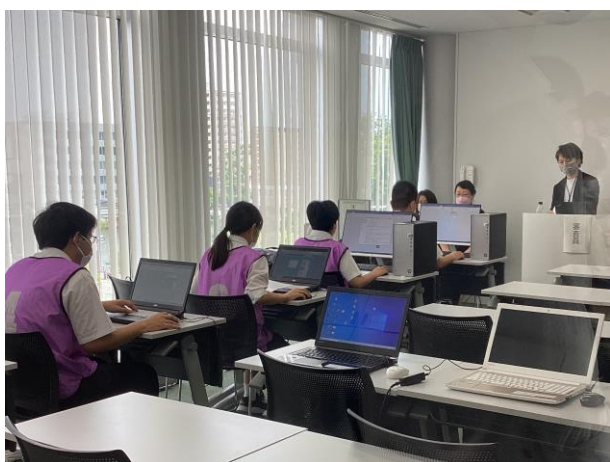
本校からは、高等部3年の佐藤晴斗さんが「ビルクリーニング競技」、高等部2年生の井上大貴さんが「喫茶サービス競技」に出場しました。結果は、晴斗さんが、全県第3位となる銅賞を獲得しました。大基さんは、惜しくもあと一步メダルには届きませんでしたが、競技に大切な「元気な挨拶」や「笑顔」を忘れず、練習の成果を発揮できました。二人とも、大変緊張感のある中で、本当によくがんばりました。



ビルクリーニング競技の様子です。テレビ取材もありました。



喫茶サービス競技の様子です。専門学校の学生の皆さんがお客様役でした。



ビルクリ・喫茶以外にも様々な競技がありました。写真はワード・プロセッサ競技です。



表彰式の様子です。出場者全員で、お互いの健闘を称え合いました。

今回の競技大会は、全県大会でしたが、10月27日（金）には、県南地区での技能競技会を予定しており、稲川支援学校、横手支援学校、大曲支援学校、大曲支援学校せんぼく校の生徒がチャレンジすることになります。その競技会の詳細については、次回以降の進路指導部報「ステップ」にて紹介いたします。